

SDGsマインドを持った人材育成のための地域連携・学校連携型合同授業・社会活動の実践

主な連携先地域：埼玉県、東京都など



対象地域の特徴や課題	学習指導要領では個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が求められている。個人の興味に即したテーマ設定や多様な世代や多様な地域間の交流・連携による探求学習や社会活動を実践することで、個人の資質能力やキャリア意識が向上すると考えられるが、これと合わせて地域の持続可能性をいかに高めるかが課題である。
取り組みの概要や特徴	SDGsマインドを持った人材を育成するため、企業見学会や研究室見学会、合同授業やワークショップ、社会活動体験・交流、デジタルコンテンツ協働製作などを学科横断、学部横断、さらには小中学校・高校など合同で行う。
主なプログラムなど	埼玉大学田中研究室、芝浦工業大学田邊研究室・増田研究室・市川研究室、ウェルネストホーム、第一生命経済研究所、UDトラックスの見学など
担当研究室名/担当教員	システム理工学部環境システム学科 中口 毅博、磐田 朋子 電子情報システム学科 間野 一則、生命科学科 越阪部 奈緒美 機械制御システム学科 君島 真仁、渡邊 大 デザイン工学部 田邊 匡生
関連サイト	環境システム学科ホームページ https://www.paes.shibaura-it.ac.jp/

